

奄美市立市小・中学校 ～シマグチ伝承活動の取組～



毎週火曜日の朝の活動時間を「奄美学」と設定し、奄美の歴史や伝統・文化を学ぶ活動を行っている。その中で集落の高齢者の方々を招き、集落のシマグチの伝承活動を行っている。普段の生活の中で使うシマグチを具体的に動作を交えて教えていただき、朝の挨拶、帰りの挨拶をシマグチで行うなど生活の中で活用しながら覚えている。7月からは、高齢者の方々の指導のもと「シマグチ劇」に挑戦し、「学習発表会、地区合同文化祭」で披露している。

また、シマグチで作られた、シマグチカルタなどを活用することでシマグチを楽しく学び、より身近に感じられるように工夫している。また「シマグチ検定」に独自に取り組み、教わってきたシマグチを改めて学ぶことができている。

他にも、「三味線」(授業)、「八月踊り伝承活動」(地域行事)を実施し、シマ唄を通してシマグチを学んでいる。「三味線」は、保護者を講師として招き、基本的な三味線の弾き方を教えていただき、シマ唄にのせて演奏できるようにしている。「八月踊り伝承活動」では、敬老会の方々の協力を得て、島に伝わる伝統的な踊りを教えていただいている。ともにシマ唄にのせて行うため、シマグチの理解が必要である。全てがシマグチで書かれているため、意味を十分に理解できていない児童生徒もいるが、地域の方々とのふれあいを通してシマ唄(シマグチ)の内容を理解できるようにしている。